

2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月6日

上場会社名 株式会社 メイコー

上場取引所 東

コード番号 6787 URL <https://www.meiko-elec.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名屋 佑一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長 (氏名) 本多 正行 TEL 0467-76-6001

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	86,216	5.5	4,197	9.6	6,760	22.7	5,223	18.6
2023年3月期第2四半期	81,710	17.6	4,641	16.4	8,741	63.4	6,419	53.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 14,393百万円 (13.3%) 2023年3月期第2四半期 16,607百万円 (220.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	197.52	
2023年3月期第2四半期	250.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	230,714	97,994	39.4
2023年3月期	202,394	84,475	38.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 90,803百万円 2023年3月期 77,320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		27.00		28.00	55.00
2024年3月期(予想)		27.00		28.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当状況については、後述の「(参考)種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	173,000	3.4	10,000	4.4	11,600	3.5	9,300	5.1	350.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	26,803,320 株	2023年3月期	26,803,320 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,157,751 株	2023年3月期	1,159,051 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	25,644,682 株	2023年3月期2Q	25,641,302 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「役員向け株式交付信託」及び「株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産として保有する当社株式が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2023年11月16日に機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(参考)種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は、以下のとおりであります。

第一回社債型種類株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	2,233,660.00	2,233,660.00
2024年3月期	—	2,256,164.40			
2024年3月期(予想)			—	2,256,164.40	4,512,328.80

(注) 上記の第一回社債型種類株式の発行数は70株であり、2022年10月25日に発行しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における電子部品業界は、部品不足によるサプライチェーンの混乱が収束に向かいグローバルな自動車生産台数は回復が見られるものの、世界的なインフレの継続や中国経済の減速等により消費市場は依然低迷しており、需要の回復に至りませんでした。また、地政学リスクの高まりに伴い、先行きの不透明感は強まっております。

このような状況の中当社グループでは、車載向け基板の受注が増加へ転じ、販売面でも堅調さを維持しました。スマートフォン向け基板ではハイエンドモデル向け案件やフレキシブル基板の受注が増加し、販売面でも底打ちの兆しが見えました。EMSは受託開発案件が堅調に推移しました。生産面では受注拡大に伴い工場稼働率が回復するとともに、コスト削減、投資抑制などの施策、為替の影響等も相まって、営業利益は増加傾向にありますが、新工場の稼働費用等もあり前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、86,216百万円（前年同期比5.5%増）と前年同期に比べ4,506百万円の増収となりました。損益面では、営業利益が4,197百万円（前年同期比9.6%減）、経常利益が6,760百万円（前年同期比22.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が5,223百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は230,714百万円となり、前連結会計年度末に比べ28,319百万円増加しました。流動資産において、現金及び預金が4,843百万円増加、受取手形及び売掛金が1,119百万円増加、電子記録債権が3,021百万円増加、棚卸資産が2,083百万円増加、流動資産のその他が2,255百万円増加、固定資産において、有形固定資産が14,766百万円増加が主な要因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は132,719百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,800百万円増加しました。流動負債において、支払手形及び買掛金が6,824百万円増加、短期借入金が5,417百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が1,374百万円増加、固定負債において、長期借入金が783百万円増加が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は97,994百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,519百万円増加しました。利益剰余金が4,345百万円増加、為替換算調整勘定が9,104百万円増加が主な要因であります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、22,177百万円となり、前連結会計年度に比べ4,843百万円増加(前年同期は8,326百万円増加)しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、10,531百万円(前年同期は2,327百万円の増加)となりました。この増加は、主に税金等調整前四半期純利益6,745百万円、減価償却費5,367百万円、仕入債務の増加4,943百万円による資金の増加と、為替差益1,959百万円、売上債権の増加3,235百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、12,711百万円(前年同期は21,483百万円の減少)となりました。この減少は、主に有形固定資産の取得による支出12,256百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、5,679百万円(前年同期は26,401百万円の増加)となりました。この増加は、主に短期借入金の純増額4,520百万円、長期借入れによる収入6,000百万円による資金の増加と、長期借入金の返済による支出3,841百万円による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、本日(2023年11月6日)公表いたしました「営業外収益(為替差益)の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,583	22,426
受取手形及び売掛金	35,989	37,108
電子記録債権	2,919	5,940
商品及び製品	9,928	9,591
仕掛品	7,043	7,919
原材料及び貯蔵品	15,658	17,202
その他	2,952	5,208
貸倒引当金	△171	△28
流動資産合計	91,905	105,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,455	27,766
機械装置及び運搬具（純額）	44,752	47,842
土地	2,553	2,547
建設仮勘定	18,314	28,434
その他（純額）	3,461	3,712
有形固定資産合計	95,537	110,304
無形固定資産		
のれん	6,303	5,965
その他	696	718
無形固定資産合計	6,999	6,684
投資その他の資産	7,951	8,353
固定資産合計	110,489	125,343
資産合計	202,394	230,714

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,794	29,619
短期借入金	29,663	35,080
1年内返済予定の長期借入金	7,200	8,574
未払法人税等	1,020	1,382
賞与引当金	1,200	1,056
役員賞与引当金	54	1
その他	11,739	12,294
流動負債合計	73,672	88,010
固定負債		
長期借入金	38,466	39,250
役員退職慰労引当金	215	215
株式給付引当金	172	234
役員株式給付引当金	36	46
退職給付に係る負債	4,125	3,697
その他	1,229	1,265
固定負債合計	44,246	44,709
負債合計	117,919	132,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,888	12,888
資本剰余金	13,700	13,700
利益剰余金	35,568	39,913
自己株式	△2,176	△2,172
株主資本合計	59,981	64,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	58
繰延ヘッジ損益	54	△67
為替換算調整勘定	17,425	26,529
退職給付に係る調整累計額	△154	△47
その他の包括利益累計額合計	17,339	26,473
非支配株主持分	7,154	7,191
純資産合計	84,475	97,994
負債純資産合計	202,394	230,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	81,710	86,216
売上原価	69,189	72,327
売上総利益	12,520	13,889
販売費及び一般管理費	7,879	9,691
営業利益	4,641	4,197
営業外収益		
受取利息	50	253
受取配当金	3	4
為替差益	4,237	2,792
その他	304	158
営業外収益合計	4,595	3,207
営業外費用		
支払利息	430	551
その他	65	94
営業外費用合計	495	645
経常利益	8,741	6,760
特別利益		
固定資産売却益	0	35
退職給付制度終了益	—	5
特別利益合計	0	41
特別損失		
固定資産除売却損	137	56
災害による損失	60	—
事業構造改善費用	15	—
特別損失合計	213	56
税金等調整前四半期純利益	8,527	6,745
法人税等	2,156	1,497
四半期純利益	6,371	5,247
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△48	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,419	5,223

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	6,371	5,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	45
繰延ヘッジ損益	△65	△122
為替換算調整勘定	10,286	9,116
退職給付に係る調整額	11	107
その他の包括利益合計	10,236	9,146
四半期包括利益	16,607	14,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,623	14,356
非支配株主に係る四半期包括利益	△15	36

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,527	6,745
減価償却費	4,631	5,367
のれん償却額	20	338
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△16	621
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△137	△156
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△58	△52
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	30	61
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	4	10
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	56	△318
受取利息及び受取配当金	△53	△257
支払利息	430	551
受取保険金	△22	—
為替差損益 (△は益)	△2,721	△1,959
有形固定資産除売却損益 (△は益)	137	20
災害による損失	60	—
事業構造改善費用	15	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,619	△3,235
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△369	362
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,418	4,943
その他の資産の増減額 (△は増加)	△347	△1,571
その他の負債の増減額 (△は減少)	△323	387
その他	△18	29
小計	3,806	11,887
利息及び配当金の受取額	48	266
利息の支払額	△422	△548
保険金の受取額	22	—
事業構造改善費用の支払額	△15	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,111	△1,074
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,327	10,531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,524	△12,256
有形固定資産の売却による収入	0	45
無形固定資産の取得による支出	△65	△68
投資有価証券の取得による支出	—	△572
投資有価証券の売却による収入	—	221
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△9,312	—
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△550	25
長期貸付けによる支出	△1,109	△534
長期貸付金の回収による収入	165	398
その他	△86	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,483	△12,711

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	25,499	4,520
長期借入れによる収入	5,000	6,000
長期借入金の返済による支出	△3,314	△3,841
リース債務の返済による支出	△140	△121
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の処分による収入	2	—
配当金の支払額	△644	△877
財務活動によるキャッシュ・フロー	26,401	5,679
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,081	1,343
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,326	4,843
現金及び現金同等物の期首残高	10,450	17,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,777	22,177

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、電子回路基板等の設計、製造販売及びこれらの付随業務の電子関連事業を主とし、その他の事業については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。